

- NSF（国立科学財団）におけるNITRDプログラム関連予算の推移を分野毎に見てみると、2012年度以降は、人間とコンピュータのインタラクション・情報管理（HCI&IM）の規模が最も大きく、次いでハイエンドコンピュータのインフラ・アプリケーション(HEC&IA)の順となっている（図 1-20）。

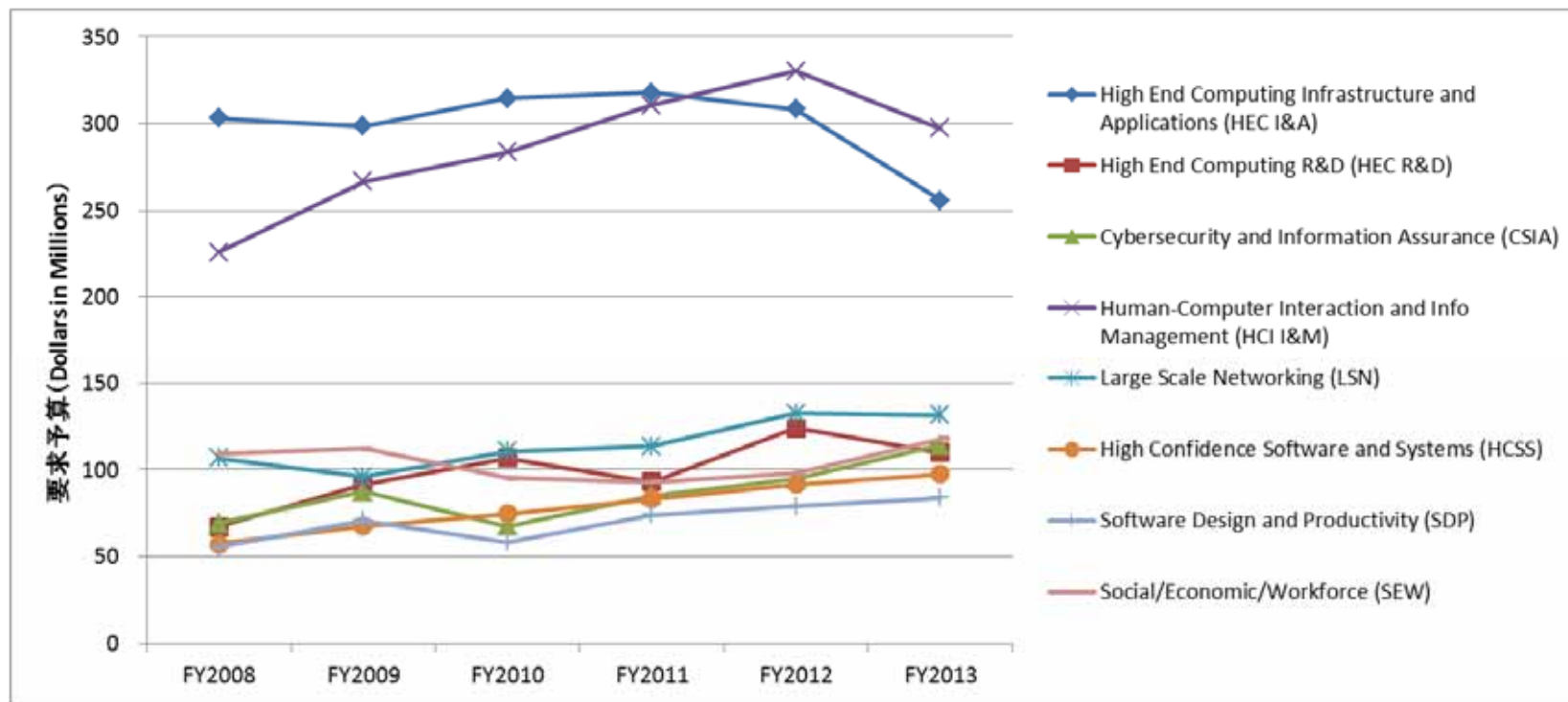


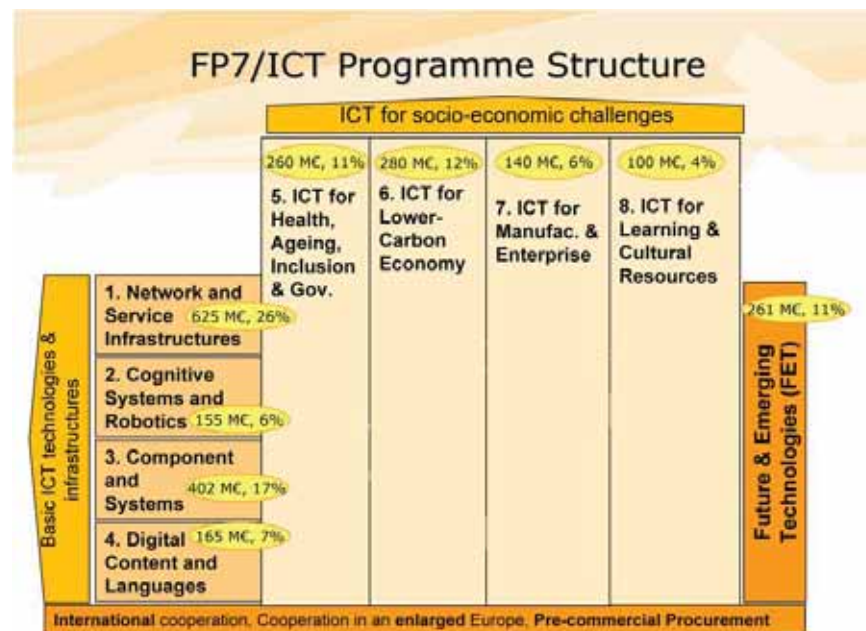
図 1-20： NSF 予算要求における NITRD プログラム関連 推移 (FY2008～2013)

(出典) NSF-Wide Investments, Networking and Information Technology R&D を元に内閣府作成,

(http://www.nsf.gov/about/budget/fy2013/pdf/45_fy2013.pdf)

1.3.2. 欧州

- 欧州の情報通信分野における研究開発は、第7次フレームワークプログラム（FP7）で推進している。（2007年から2013年の7年間）
- 予算の内訳は、共同研究支援 COOPERATION 324.13 億€の内、情報通信技術（ICT）は予算の約 28%程度である。
- 分野は、4 つの技術課題（全予算の内 56%）と社会経済上の重点4分野（全予算の内 33%）のマトリクス状に分割して推進している（図 1-21）。



(2011～2012年の予算)

図 1-21 : FP7 のプログラム構成

(出典) Bernard Barani et al., "ICT and EU Innovation Support," Mobile World Congress, February 7, 2011

- 一方、2014年から2020年については、7年間で総額800億€規模の新たなファンディングフレームワークである「Horizon 2020」の下、研究開発を推進する予定となっている。Horizon 2020は、現在三つのプログラムで提供されているEUの研究・イノベーション関連のファンディングを、単一の一貫性を持ったフレキシブルなフレームワークに統合する（図 1-22、図 1-23）。

➤ 現在の3つのプログラム

- ◇ 研究と技術開発のためのフレームワークプログラム (Framework Programme for Research and Technological Development(FP))
- ◇ 競争力・イノベーションフレームワークプログラム(Competitiveness and Innovation Framework Programme (CIP))
- ◇ 欧州イノベーション・技術機構(European Institute of Innovation and Technology(EIT))

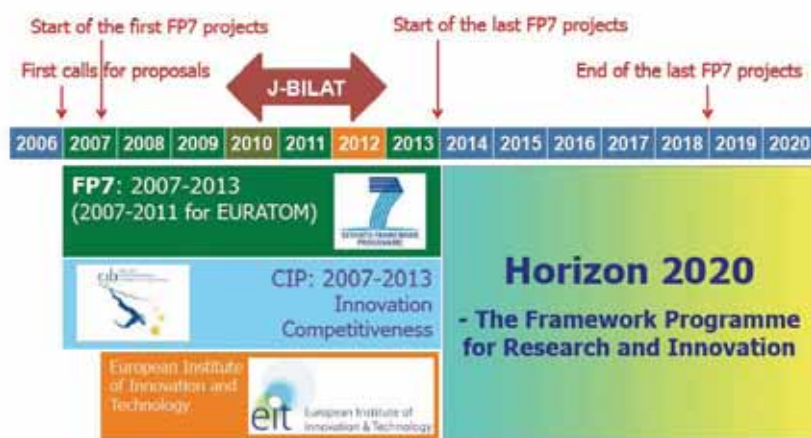


図 1-22 : ファンディングフレームワークの Horizon2020 への統合

(出典) Toshiyasu ICHIOKA, “From FP7 to HORIZON2020”, J-BILAT 2012 Seminar No.1 EU/Japan Innovation Strategy and Cooperation in R&D Tokyo, 23rd April 2012,

(http://www.j-bilat.eu/documents/seminar/as_1/presentation_as1_ti.pdf)

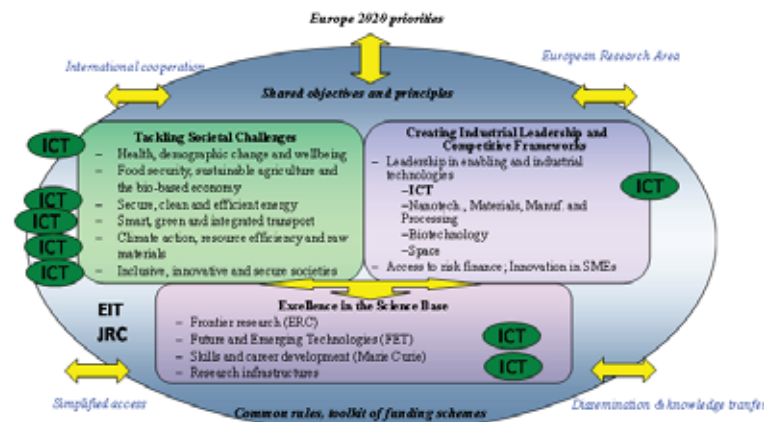


図 1-23 : Horizon2020 の目的と構造

(出典) Ljubljana, “Future Networks Research in FP7 and H2020,” April 2012

(<https://ripe64.ripe.net/presentations/225-RIPE64.pdf>)